

# 永和化成有限会社

## 事業者紹介

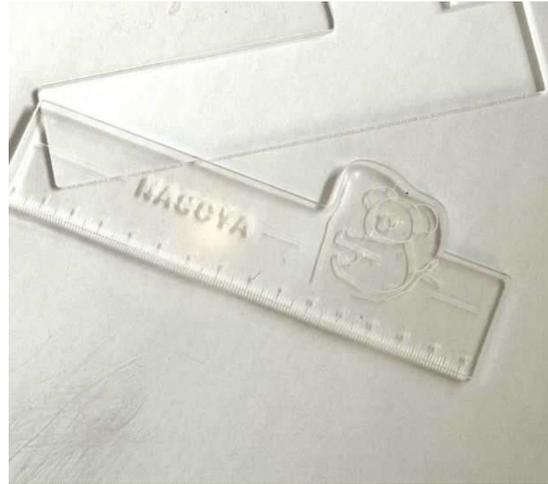
1959（昭和 34）年の創業から一貫してプラスチックの総合加工を専門に手がける永和化成有限会社。

プラスチックの板材料を使い、レーザー加工機を駆使した工業部品やカバー、ディスプレイケース、コンピュータカッティング、彫刻、銘板、名札などプラスチックの加工品を1つから受注。「まちの匠」として、さまざまなニーズに応じています。企業だけでなく一般消費者からのオーダーにも対応し、職人技+デジタル技術を駆使し幅広い製品を生み出しています。



アクリル板から作成した定規。

アクリル板はコンピュータでデザインし、レーザーでカットや彫刻を行います。



完成品とアクリル板

## アップサイクルへの取組のきっかけ

コロナ禍において、あらゆる場面で目にしたプラスチック製の飛沫防止パーティション。しかし、新型コロナウイルスの5類移行後はパーティションの処分を検討する企業などが急増しました。これは名古屋市でも同様で、市では不要となったパーティションをなんとか再利用できないかと模索。こうした背景を聞き、同社で取り組み始めたのが使用済みの飛沫防止パーティションを使ったアップサイクルです。

同社にとって、アクリル板を利用したアイデア商品を作るのはお手のもの。しかし、使用済みのアクリル板を利用したアップサイクルには苦戦したそう。

「アクリル板は透明で傷や汚れがつきやすく、一度使用したものを何か製品にするには制限が多い。さらにそれを喜んでもらえるものにするには…?と考えると、苦労しました。しかも、子どもたちにアップサイクルを知ってもらうため、ワークショップで一緒に作れるものがよい…という話になり、さらにハードルが上がりました」(安井さん)



表面に多くの傷がついたアクリル板。今回のアップサイクルでは傷の部分を避けて使用。

スマホスタンド、定規、お守りなど、いくつものアイデアを出しては試作を重ね、最終的に決まったのが「バス型キーホルダー」。キーホルダーは単にアクリル板をカットするだけでなく、くりぬきなども行って貼り合わせ、車の窓の部分にビーズを入れるという遊び心のあるもの。近隣の小学校で行った「土曜学習プログラム」のワークショップでも、子どもたちから大人気となりました。



出来上がった「バス型キーホルダー」。

### 今後の課題や展望

「今回のキーホルダーづくりは地域貢献にもつながり、よかったですと思います。しかしアップサイクルには難しい点も多い。特に使用済みの製品を利用したアップサイクルは、端材を利用したアップサイクルより難しく、手間もコストもかかってしまう。こうした部分も含めて、アップサイクルについて多くの人に知ってもらうきっかけになればうれしい」(安井さん)

### 事業者について

永和化成有限会社  
〒462-0844 名古屋市北区清水 5-4-15  
TEL 052-911-8161  
<https://eiwakasei.com>